

SAMPLE | 金額・年齢・家族構成はすべて架空です

住宅ローン ファイナンシャルプラン表

家計全体の中で、損や見落としを減らすための判断材料を見える形にします。

相談テーマ	住宅ローンの返済相談	ご家族（架空）	夫 38 歳・妻 36 歳・子ども 2 人（6 歳・3 歳）
実現したいこと	教育費と緊急予備資金を残しながら、65 歳までに返済する	現在の金融資産	頭金後の預貯金 500 万円／投資資産 120 万円

家族とお金の見通し

単位：万円／年（残高のみ万円） ※税金・社会保険料を差し引いた手取り収入で表示

年	年齢 夫・妻	家族の予定	手取り収入	基本生活費	教育・特別支出	相談テーマ費	年間収支	金融資産残高
2026	38・36	住宅購入	760	410	210	125	+15	620
2030	42・40	小学校	780	430	170	125	+55	760
2035	47・45	高校・中学	790	450	240	125	-25	690
2040	52・50	大学・高校	760	460	300	125	-125	420
2053	65・63	完済予定	480	430	70	0	-20	550

この表から判断できること

01 借入 3,800 万円（返済 10.4 万円／月）では、教育費が重なる 2040 年に年間 125 万円の赤字です。	02 金利上昇時も返せる毎月額と、購入後に残す現金を先に決めます。	03 借りられる額ではなく、生活と貯蓄を続けられる額で判断します。
---	-----------------------------------	-----------------------------------

数値は見本です。実際のプラン表は、相談者の資料と希望を確認して作成します。将来の収支や運用成果を保証するものではありません。

テーマ別の判断プラン

住宅ローンを、教育費と老後まで無理なく返せるか

家計の見通しと相談資料の数字を重ね、選択肢ごとの影響を比べます。

借入案	毎月返済	総返済額の目安	家計での判断
3,400 万円・固定	10.8 万円	4,530 万円	赤字期も予備資金を残せる
3,800 万円・変動	10.4 万円→上昇あり	4,360 万円～	金利 2%時は教育費と重なる
4,200 万円・変動	11.5 万円→上昇あり	4,820 万円～	頭金後の現金が不足

次に取る 3 つの行動

STEP 1 購入後も生活費 6 か月分と諸費用を残せる頭金を決める。	STEP 2 金利が 2%上がった返済額で、教育費ピークの年間収支を確認する。	STEP 3 固定・変動の正式な金利と諸費用を金融機関へ確認して決める。
---	---	--

相談後に手元に残るもの

この 2 ページのファイナンシャルプラン表を原則 2 営業日以内に送ります。家計全体を見ながら、借入額・金利タイプ・頭金をどう組み合わせるか、自分で判断できます。

この見本だけでは 決められないこと	実際に借りられるか、適用される金利、借り換えができるかは金融機関が決めます。この相談では、無理なく返せる額と、金融機関へ聞く条件を判断できます。
----------------------	--

運営：スペシャリスト・ドクターズ株式会社（保険代理店）

60 分の相談とファイナンシャルプラン表は、相談者の費用負担 0 円です。運営費は、提携する金融機関から受け取る手数料でまかっています。

この PDF は表示例です。氏名・契約番号・会社名・金額はすべて架空です。個別の税務・法務判断は、税理士・弁護士・司法書士等へご確認ください。